

一般財団法人千葉県観光公社

平成 29 年度事業報告

I 事業概要

公社事業の実施にあつては、施設利用者の立場に立った親しみやすく真心のこもったサービスの提供に努め、より多くの利用者に憩いと安らぎの場を提供し、地域振興及び地域経済の活性化に貢献することを目的として、公社施設である国民宿舎サンライズ九十九里及び千葉県観光物産センターレストハウスパテオの管理運営と、千葉県から指定管理者として引き続き管理を受託した内浦山県民の森及び館山野鳥の森の管理運営を実施した。

II 事業の実施状況

(1) 国民宿舎サンライズ九十九里

本事業では、宿泊者数 69,000 人を事業目標に掲げ、年度当初より、鍋バイキングの導入など宿泊バイキングプランの多種多様化やシニア層への一層の営業強化、またエージェントへの積極的な働きかけによる昼食利用者の増加などにより、最大限収益を上げるように営業努力を続けた。

一方、建設以来 20 年以上を経過し建物等の劣化は近年著しく、特に利用者の安全確保のための大小問わずの修繕工事が相次ぐ中、本年度においては客室ベランダ軒天部分の大規模修繕を実施せざるを得ない状況となり、それに伴い客室の景観を損ね通常の客室販売が困難となったことから、第 3 四半期以降の集客に多大な影響を及ぼし、それに起因する宿泊者数の減は 2,000 人強にも及んだ。併せて、従来からのリピーター利用者の減少傾向は著しく、加えて新規利用者の獲得も伸び悩んだことから、最終的には当初計画から 4,492 人少ない 64,508 人の宿泊者数に留まることとなった。

事業収支において、未だ続く県観光需要の低迷や、繁忙期における台風の影響や大規模修繕実施による施設利用者の減少等が大きく影響し、最終的な収益は対前年比 24,439 千円大幅減の 1,065,423 千円となった。

また、費用については、客室ベランダ軒天部分の大規模修繕 55,500 千円のほか、館内の適正な維持管理・利用客の利便性、安全性を最優先に考えた改修工事等を積極的に実施した結果、対前年比 11,786 千円の増、1,095,970 千円となり、事業全体の損益としては 30,547 千円の損失であり、対前年比 64,319 千円の大幅減となった。

(2) 内浦山県民の森

内浦山県民の森の入園者数は 157,143 人であり、昨年度に比べて 2,067 人の増となった。また、森の宿せせらぎの宿泊利用者数は 6,261 人で昨年度に比べて 215 人の増となった。

事業収入は 98,621 千円で、昨年度に比べて 844 千円の増であり、旅行代理店からの送客による団体利用の増加が主な要因である。

(3) 館山野鳥の森

館山野鳥の森入園者数は 78,355 人で、昨年度に比べて 691 人の増となった。

事業収入 21,308 千円で、対前年比 83 千円の減となり、これは指定管理受託料の減が主な要因である。

(4) レストハウスパテオ

レストハウスパテオは、引き続き(株)OKT にレストラン業務を委託し、千葉ポートパーク利用者の憩いの場として、イタリアンレストラン『ポルトイタリアーナ』を管理運営していたが、平成 29 年 12 月末をもって当該委託事業者が撤退したため、本年 1 月から自動販売機を設置し、千葉ポートパーク利用者のための無料休憩所として公社が自主運営することとなった。

(5) 千葉県観光物産センター

当該事業用地を本年 2 月に千葉県から取得し、今後の活用方法について協議を進めている中、平成 29 年 6 月から隣接地にホテルを建設中の東急建設が管理事務所として 1・2 階部分を賃貸したことによりテナント使用料収入 6,000 千円が増え、結果として事業収入は対前年比 6,702 千円増の 12,141 千円となった。

以上が 29 年度の公社の主な事業の実施状況であり、公社全体としては 56,713 千円の損失となった。

なお、決算状況の概要及び施設別の利用状況については別表のとおり。

別表 【決算状況の概要】

(単位：円)

経常増減の部	金額
経常収益	
受託料	54,907,408
単独収益	1,144,378,032
営業外収益	891,357
経常収益合計	1,200,176,797

経常費用	金額
事業費	1,249,521,532
管理費	4,916,345
営業外費用	2,052,311
経常費用合計	1,256,490,188

当期経常増減額 ①	▲56,313,391
-----------	-------------

経常外増減の部	金額
経常外収益	0
経常外費用	400,003
当期経常外増減額 ②	▲400,003

当期一般正味財産増減額 ①+②	▲56,713,394
-----------------	-------------

別表 【施設別の利用状況】

(1) 国民宿舎サンライズ九十九里

(単位: 人、千円)

区分		29年度	28年度	比較	27年度
利用内訳	宿泊者	64,508	66,988	▲ 2,480	67,796
	会議室・休憩	16,229	15,609	620	19,820
	多目的ホール	6,953	8,363	▲ 1,410	10,379
	庭球場	3,989	4,547	▲ 558	5,600
	水泳場	84,698	88,321	▲ 3,623	87,159
	計	176,377	183,828	▲ 7,451	190,754
事業収入		1,065,424	1,136,897	▲ 71,473	1,136,751

(2) 内浦山県民の森(森の宿せせらぎを含む)

(単位: 人、千円)

区分		29年度	28年度	比較	27年度
利用内訳	入園者	157,143	155,076	2,067	161,456
	せせらぎ	6,261	6,064	197	6,994
	ログキャビン	5,309	5,402	▲ 93	5,809
	その他	19,910	18,541	1,369	22,652
	施設利用者計	31,480	30,007	1,473	35,455
事業収入	単独収入	62,140	60,833	1,307	69,382
	受託料収入	36,481	36,944	▲ 463	37,407
	計	98,621	97,777	844	106,789

(3) 館山野鳥の森

(単位: 人、千円)

区分		29年度	28年度	比較	27年度
利用内訳	入園者	78,355	77,664	691	77,435
事業収入	単独収入	2,882	2,872	10	3,080
	受託料収入	18,426	18,519	▲ 93	18,611
	計	21,308	21,391	▲ 83	21,691